

経営指標にかかる数値目標

※太字は実績が指標を上回る

区分	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
経常収支比率(%)	96.8	91.3	99.5	92.9	97.6	90.1	97.0	93.1	100.6	76.1	100.6	131.2	100.6	169.9
医業収支比率(%)	81.0	74.9	83.4	77.0	74.6	70.0	74.7	72.7	78.6	66.1	78.6	64.7	78.6	80.7
給与費対医業収支比率(%)	71.2	78.0	68.8	74.5	97.6	99.6	97.4	95.9	92.1	104.1	92.1	104.4	92.1	80.2
材料費対医業収支比率(%)	33.0	34.6	33.1	34.6	9.9	16.3	10.4	15.1	10.4	16.8	10.4	16.2	10.4	18.1
病床利用率(%)	65.0	54.2	70.0	57.2	75.0	53.7	75.0	60.7	80.0	55.0	80.0	33.5	80.0	39.2
入院患者数(人)	9,490	7,937	10,220	8,359	10,950	7,852	10,950	8,894	11,700	7,667	11,700	5,477	11,700	5,726
入院患者1人当たり 収入額(円)	24,600	23,941	24,800	24,211	25,000	26,098	25,200	26,419	25,400	25,424	25,400	25,277	25,400	43,573
外来患者数(人)	28,500	26,561	29,000	26,288	30,250	25,106	30,500	23,999	31,000	21,346	31,000	21,487	31,000	23,353
外来患者1人当たり 収入額(円)	14,100	14,492	14,300	14,732	5,500	8,676	5,600	8,626	5,800	9,289	5,800	10,419	5,800	10,268

* 経常収支比率

院外処方を実施した平成30年度以降も横ばい傾向であるが、R3・R4は病床確保補助金により大きく増加した。

* 医業収支比率

院外処方を実施した平成30年度に落ち込んでいる。

令和4年度に関してはコロナ陽性患者受入れのため一般病床を14床に減床したが6波・7波の入院公費により医業収益が増加した。

* 給与費対医業収支比率

院外処方の実施により20%上昇し、令和2年度はコロナによる受診控え、3年度は病床数の減により100%を超えていたが、令和4年度は、6波・7波の入院公費により医業収益が増加したため、比率が減少した。

* 材料費対医業収支比率

平成30年度以降は、院外処方によって50%程度改善するが目標には到達していない。

* 病床利用率

計画数値に達していない。令和3・4年度は一般病床を14床とした影響もある。

* 入院患者数

計画数値に達していない。令和3・4年度は一般病床を14床とした影響もある。

* 入院患者一人当たり収入額

直近5年間は目標値を上回る。

* 外来患者数

目標値と大きく乖離し続けているが、令和4年度は8波の影響で発熱外来が増え前年度を上回った。

* 外来患者一人当たり収入額

計画期間において毎年目標値を上回る。

目標達成に向けた具体的な取り組み

項目 1	医師及び医療職員確保の取り組みによる外来及び入院収益の確保 (収入改善)
経営基盤の安定化を図るため、滋賀県や滋賀医科大学など関係機関への医師派遣の要望活動を積極的に行い、現医療体制の医師を確保するとともに、募集困難な職種である看護師等の医療職員の確保に努めます。	
【取り組みの状況】 看護師確保のため「甲賀市看護職員就学資金等貸与条例」に基づき予算化を図った。⇒R4 予算に計上 180 万円(奨学資金 120、支度金 60)	
項目 2	地域の医療・保健・福祉サービスの提供機関との連携 (収入改善)
甲賀医療圏域における地域連携室のネットワーク化が進められており、当院においては急性期治療が終了した後の回復期において地域連携パスにより帰院していただくなど一層の連携を図り、転院、在宅復帰への支援を行います。	
【取り組みの状況】 地域医療連携室を設置し医療機関をはじめ関係機関等を訪問し、顔の見える関係づくりに努め連携強化を行っている。 包括ケアネットワークしがらきの活動など、多職種連携を図っている。 ただし、新型コロナウイルス感染症重点医療機関であるため 26/40 床を新型コロナウイルス陽性患者受け入れ病床としていた。	
項目 3	在宅医療の充実 (収入改善)
「在宅療養支援病院」として院内に在宅医療相談窓口を設置し、24 時間体制での訪問診療や看取りなどの在宅医療を行い、患者の在宅療養をサポートしていくとともに、地域連携の構築を推進します。	
【取り組みの状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談者の立場に立った親切丁寧な相談業務に心掛けています。 ・ 年間 500 件 (80 人) の訪問、往診 60 件 (44 人)、薬剤師訪問 128 回 (11 人) 等を実施しています。 ・ 今後も地域に根ざした病院として積極的な診療を提供していきます。 特別養護老人ホームの協力医として入所者の診療や看取り (30 件) を行っている。	
項目 4	出張診療所の存続の可否と訪問診療の実施 (経営改善)
多羅尾、朝宮、田代に出張診療所を開設し地域医療を推進していますが、朝宮は建物の老朽化が激しく、また田代は患者が減少していることから、平成 29 年度に存続の可否を地域と協議し、訪問診療に切り替える方向で調整していきます。	

【取り組みの状況】

平成29年度に田代地区と協議を図るも、具体的な協議が行えなかった。
朝宮出張診療所は建物や設備の老朽化が進んでいるため、新たな投資に伴う費用対効果を鑑み、当面の間、地域内の施設を借用し診療を行う方法について検討したが診察室や待合室の確保、当該施設の使用目的に合致しない等、困難であるとの判断に至っている。

このような経過を踏まえ、とりわけ通院困難者の支援を念頭に地元の意向を聞きながら、訪問診療を柱とした診療や移動手段の検討について進めていきたい。

令和4年度において特に動きはなし。

項目5	午後又は夕方の診療及び送迎サービスについての検討（収入改善）
-----	--------------------------------

外来診療時間は午前中の限られた時間であることから、その時間に来院できない患者のため午後の外来診療を開設するための検討を行います。また、公共交通機関が利用できない地域等に、病院からの送迎サービスを行なうことについても検討を行います。

【取り組みの状況】

平成31年1月年度から午後診療を開始しております。利便性としては向上したと考えているが、全体的な増患効果が表れていない。令和2年4月からは、時間外の夜診を週1回行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施を見計らっている状況であります。なお、甲賀市地域医療審議会では、医師・看護師の働き方改革もあり、時代に逆行する部分もあり公立病院として夜診は、すべきではないとの意見もあります。

また、送迎サービスにつきましては、ほとんどが町内の患者であり、地理的にも広範囲であり、公共交通網の充実については人口減少と相まって難しいことが大きな課題となっています。

送迎サービスは有用なサービスではありますが、他の実施医療機関の取り組みを研究すると共に、バス停留所を近隣に設置していただくなど公共交通機関の利便性向上についても関係部局と協議しましたが、早急な対策は見いだせていない状況。

項目6	入院基本料の施設基準の維持による収入の確保（収入改善）
-----	-----------------------------

今後現実する退職者の補充を適宜行い、看護体制の安定継続による入院基本料の収入の確保を図るため13：1の看護配置基準を堅持します。

【取り組みの状況】

入院基本料の確保のために看護師の確保は必要不可欠であることから、継続的な採用募集を行っている。

看護師確保のため「甲賀市看護職員就学資金等貸与条例」に基づき予算化を図ります。⇒R4 予算に計上 180 万円 (奨学資金 120、支度金 60)

項目7	職員の接遇及び経営意識の改善（経営改善）
<p>院内情報誌等による職員に対する情報提供や、院内研修会、経営検討会議の開催、外部研修会への積極的な参加を図るとともに、専門員を配置して病院の全職員一人ひとりの接遇の向上及び経営意識の改善に取り組みます。</p>	
<p>【取り組みの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内会議等の主要な内部会議で経営状況の認識の共有化を図っています。 <p>また、今年度「病院強化プラン」を作成するにあたり、現状・今後の経営等について各部からの選出委員による策定委員会を設置しました。</p>	

項目8	病院ホームページのリニューアルと広報活動の実施（収入改善）
<p>病院のイメージアップと特徴について自己発信する事で、利用者が病院を選ぶ決め手となるようにホームページをリニューアルします。また、地域に向いての健康推進教育等の出前講座を積極的に実施し、当院の特色である総合診療、在宅医療を広報します。</p>	
<p>【取り組みの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年10月1日から独自のホームページを開設し、必要な情報の更新を行っています。令和4年度の年間閲覧数は79,689件で月平均6,640人のアクセスがあります。外来診療表、常勤医紹介、コロナウイルス感染症等の照会が多い。 令和4年度は、新しい取り組みとして、リハビリ等の動画による啓発を実施した。 令和4年7月から LINE による情報発信開始 	

項目9	診療報酬の請求事務の外部委託の検討（経営改善）
<p>レセプト点検を業者委託していますが、電子カルテシステムの整備に伴い請求事務についても外部委託について検討し、事務改善を実施します。</p>	
<p>【取り組みの状況】</p> <p>こちらの「課題」ではありますが、医事分野の全面委託について検討いたしましたが、委託業者においても人材の確保が困難な状況であることが判明いたしております。医事業務については、人事異動のある正職よりも会計年度任用職員の方が知識のある者が多く、専門的知識の継承が非常に難しいことでもあります。</p>	

項目10	地域リハビリテーション事業等の実施（収入改善）
<p>高齢者等が住みなれた地域や家庭で自立した生活が送れるよう、市の委託事業である地域リハビリテーション事業を実施するとともに、骨粗しょう症健診を実施し予防対象者に健康教室を行うデータヘルス事業の受託を行います。</p>	

【取り組みの状況】

市の委託事業である地域リハビリテーション事業について本年度も受託している。また、リハビリ等の動画による啓発を行っている。

項目 1 1 病床利用率の向上（収入改善）

一般病床（40床）の利用は、在宅医療における診療所との連携による入院や、レスパイト入院の受け入れ等を検討し、病床利用率75%以上に向けた経営を目指します。

【取り組みの状況】

- ・目標数値が80%であります。令和4年度は、39.2%であり（令和3年度33.5%、令和2年度52.5%、令和1年60.0%）目標数値とは大きく乖離しております。
- ・令和4年度は新型コロナウイルス陽性患者の受け入れをするため一般病床を14床としたため大きく減少しております。
- ・レスパイト入院等の受け入れのため令和3年度から地域連携室に専任の看護師を配置しています。

項目 1 2 薬剤の院外処方化（経営改善）

消費税の上昇や診療報酬の改定による薬価差益の減少、医薬分業の政策に伴う病院経営や薬剤師の確保が困難なこと等から、院外処方化を平成30年度実施に向けて調整します。

【取り組みの状況】

- ・平成30年4月から院外処方を実施しており、現在、服薬指導のための薬剤師訪問が年間128件ございますが、更なる有効活用を考えていくことが必要と考えております。

項目 1 3	資産の有効活用
国道 3 0 7 号沿いの職員駐車場は観光振興関係課等への所管替え等による資産譲渡を継続協議するとともに、現在入居の無い医師住宅の利活用についても検討します。	
【取り組みの状況】 <ul style="list-style-type: none">・ 国道 3 0 7 号沿いの職員駐車場については多額の起債償還があることから、具体的な検討には入っていません。・ 医師住宅については、令和 3 年 1 0 月から 1 名入居されており、利用のない医師住宅については今後も、社会貢献される法人・団体や地場産業の発展に貢献が期待される方などへの貸与を推進します。・ 旧信楽交番跡地活用については市当局に対して議会での質問等もありましたが、市有地との等価交換が不可となり、病院単独での購入については、累積赤字が△1, 300 万円程度となったこと、「公立病院強化プラン」にも平時からの感染症拡大時に備えることが柱立てされていることもあり、予防接種の駐車場として購入について医療政策課と検討を始めています。	

